

いわせ和子市会議員が真光寺川をきれいにするために市議会で町田市を取組を質していただきました。その時の議事録を町田市のホームページから関係部分をそのまま掲載します。

なお質問：要請：回答など発言のサマリー一部分と朱の下線は、長文をわかりやすくするため当会で追加記載したものです。

平成23年6月15日（水曜日） 6月定例会（第2回）町田市議会会議録第14号

質問：真光寺川の水質についての市の現状認識は？市の取組みは？また広袴公園（調整池）の清掃についてのお願い

◆4番（いわせ和子） 自由民主、いわせ和子でございます。

次に、3項目め、真光寺川を守るために。

この真光寺川と広袴公園の調整池周辺は、石阪市長と愛犬タローとの散歩コースです。広袴公園の調整池は真光寺川の真ん中にあります。平成4年にでき、平成16年には親水公園となり、四季折々の花や鳥たちに出会える水鳥の名所で、地域住民の憩いの場となっております。

ところが、この二、三年大変なことが起きています。それはコイが大量に死ぬ、アオコが発生する、異臭がする、大粒の泡が大量に流れるなどなどです。調整池ができてから約20年経過していますので、土砂や落ち葉などが堆積し、池の底はヘドロ化しています。

そこでお伺いいたします。町田市は、この現状をどのように考え、真光寺川を守るために市はどのような取り組みをしているのでしょうか。また、このような状況が続くと、人的被害も発生しかねません。ぜひともこの広袴公園の調整池の清掃をお願いいたします。

なお、上下水道部長におかれましては、記念すべき初の答弁でございます。ぜひとも前向きなご答弁をよろしくお願いいたします。

以上、壇上からの質問を終わります。

回答：市は川で遊べる水質を基本方針としている。河川事故については原因調査と簡易水質検査を実施。通常検査では川で遊べる基準ではなく水質汚濁法に基づき矢崎橋付近で年4回実施。今年は6月に下堰親水でもBODの調査を行った。

◎環境資源部長（宗田隆由）

続きまして、項目3、真光寺川を守るためにの1点目、町田市の取り組みはについてお答えいたします。

真光寺川に限らず、都市における河川については、潤いのある質の高い都市環境を確保する上で水質や生態系の維持、向上が必要であると考えており、2002年に策定した町田市環境マスタープランにおきましても、だれもが安心して川で遊べる水質を確保することを基本方針の1つとして挙げているところでございます。

現在、町田市では、川面に魚が浮いたり、濁りや泡、異臭の発生などのいわゆる河川水質事故の発生に当たっては、上下水道部や河川管理者であります東京都などと連携をとり、原因調査と簡易水質検査などを行っております。また、通常の河川水質調査としましては、水質汚濁防止法に基づき、鶴見川、恩田川、境川及びその支川において継続的な水質監視を行っております。真光寺川につきましては、芝溝街道にかかる矢崎橋において、4月、7月、10月、翌年の1月の年4回、BOD、窒素などの調査を継続して行っているところでございます。2011年度においては、6月に矢崎橋とその上流300メートルにあります下堰親水護岸の2地点について調査を行っております。

回答：広袴公園（調整池）については日常的に清掃を行っている。今年は9月末までに土砂等の一部取り除き作業を行う予定（実際には9月13日～16日、27日、2

8日に実施されました)

◎上下水道部長（渋谷晴久）

項目番号3、真光寺川を守るためにの2点目、広袴公園（調整池）の清掃をについてお答えいたします。

当該調整池は、これまでも日常的な管理として清掃や物除去などを行っております。今年度は、さらに水の流れをよくするために堆積している土砂等の一部について取り除く作業を9月末までに行う予定でございます。

質問：真光寺川の追加水質検査の結果はいつ出るか？

◆4番（いわせ和子）

さて、次の項目に移ります。ちょっと順番を変えさせていただきます、3項目めの真光寺川を守るために、こちらのほうを再質問させていただきます。

町田市の取り組みはというところで、環境資源部長のほうからご答弁をいただきました。何か再質問しようかなと思っていた内容がちょこちょこ答えが出ていたような感じがいたしますが、再質問させていただきます。

まず、真光寺川を守ってくださる団体に、真光寺川を清流にする会というのがございます。ことしの1月、「第4回市民協働フェスティバル～まちだ地域活動カフェ！～」が開催されたときに、会の活動の展示や子どもたちが遊べる清流を目指してというテーマで発表されまして、真光寺川を通じて地域とのきずなを強めると発表しておりました。この会は2001年1月に発足されまして、ことしで11年目です。当初、真光寺川はビニール袋や粗大ごみが散乱する大変汚い川でした。会の皆さんは、子どもたちが遊べるきれいな川にしようと、毎月第2日曜日を清掃の日と決めております。

そして、毎年夏には子どもたちに川で遊んでもらい、自然に親しんでもらいたいと真光寺川まつりを下堰橋親水場で開催しています。2002年から開催しておりますが、昨年は川の透明度も落ちて、水の汚れ、そして川一面に大粒の泡が見られ、コイが大量に死んでしまうという現象が起き、やむなく中止となりました。ことしは何とかこのお祭りを再開したいと、会の方たちが東京都南多摩東部建設事務所のほうに水質改善や生態系の復活のため、魚道やじゃかごの継続的設置、また、危険箇所を整備してもらうなどの要望を行い、積極的な活動をしています。

さて、町田市は定期的に水質検査をしていただいておりますけれども、今回また新たな場所を検査してほしいという要望が会の皆様からありまして、既に取り組んでいただいていると伺っております。その検査の結果はいつ出るのでしょうか。

回答：検査結果に今月下旬の予定

◎環境資源部長（宗田隆由）

真光寺川につきましては、ここ数年、年に一、二回程度、川の濁りですとか魚が浮くという事故が、先ほどちょっと言いましたが、いわゆる水質河川事故が発生しているところでございまして、測定については経年的に毎年行っているのは都道のところにかかっています矢崎橋、そのところでやっております。ただ、ことしに限りましては、その上流の箇所でもう1カ所測定させていただき、その結果については今月下旬に出ると聞いております。以上です。

質問：真光寺川まつりについて広報などでPRできないか？

◆4番（いわせ和子）

6月の下旬、もしももう少し早く結果が出していただければうれしいなと思います。といいますのは、この検査結果によって、ことし真光寺川でのお祭りを実施するかどうかを判断されるということです。今の予定では、7月23日の土曜日に開催する予定でおります。また、能ヶ谷にあります昨年開園しましたみどりの森保育園、こちらの園長先生も、真光寺川まつ

りを一緒に開催したいとおっしゃっているそうです。どうかいい結果が出ることを願ひまして、もし——開催したいんですけれども——開催すると決まった場合、広報のほうでPR、そういった記事を掲載していただくことはできませんでしょうか。

回答：広報への掲載は考えていない。

◎環境資源部長（宗田隆由）

「広報まちだ」で記事ということなのですが、このイベントに関しての記事ということになりますと、市の主催の事業ではございませんので、特別にこの事業のことを載せるということは考えてはおりません。ただ、できるだけ、先ほど今月末ということでお話ししたんですが、水質汚濁防止法における環境基準を満たすかどうかという結構いろんな項目がありますので、時間がかかることもありまして、いつということはなかなかお答えできないんですが、結果が出た段階で、我々のほうも中身をよく調査、確認させていただいた上で、速やかに主催者側のほうへはご連絡申し上げたいなと考えております。

質問：水辺で遊べる水質目標に市が積極的に取り組んでほしい？

◆4番（いわせ和子）

先ほどちょっと申し上げるのを忘れてしまったんですが、広報のほうは、この川のイベントは市の主催のものではないので、ちょっと難しいというような話をいただきましたけれども、こういったお祭りが開かれているということが市民に周知されれば、おのずと川をきれいにしようという市民の意識が高まると思いますので、その辺、周知といいますか、よろしく願いをいたします。

さて、議長のお許しをいただきまして、今回、資料配付をさせていただきました。「鶴見川流域水マスタープラン」、こちらのほうをごらんいただきたいと思います。こちらは「鶴見川流域水マスタープラン 水遊びできる水質の実現に向けたアクションプラン」より抜粋したものです。表1は「子どもたちが川の中で水遊びでき、多様な水生生物が生息・生育・繁殖できる水質に改善する」として、水遊びできるような水質へ改善を目標の1つに挙げております。

そして、下の表3「水質のふれあい等級の概要」につきましては、河辺での行動形態、泳ぐ、川の中で水遊び、水辺で水遊び、見る眺めるの4つに分け、形態別に目標水質の目標を3段階に設定しています。

表4は水質等級の概要を示しますけれども、行動形態前に必要とされる機能を選定し、複数の指標を用いて総合的に河川水質を評価することが可能となります。

さて、会の皆さんは、エコネットさんの協力を得ながら、2001年4月から月1回、一定の場所数カ所で水質検査を実施しております。私も資料をいただいておりますけれども、しっかりとデータ管理がされているわけなんです、会の皆さんは、先ほど見ていただきました鶴見川流域水マスタープランの目標水質をもとに日々活動しております。

しかしながら、ボランティアでは、測定しがたい項目もありますので、ぜひとも町田市としても東京都と連携していただき、ここに出ている数値目標に積極的に取り組んでいただきたい。先ほど最初の答弁のところで、東京都のほうとも連携をして取り組んでいただけたという話をいただきましたが、もう1度再確認ということをお願いします。

回答：水辺で遊べる水質基準については今後の調査結果を見ながら必要性を含めて検討する

◎環境資源部長（宗田隆由）

水質調査に関しましては、先ほどもちょっと触れましたけれども、市のほうの調査につきましては、水質汚濁防止法に基づいた鶴見川、これは麻生橋でございますが、恩田川、これは都橋、境川が鶴間1号橋の環境基準点で継続的に水質調査を行っております。また、さらに町田市において独自に河川と流れ込む支川の部分、あるいは水路の部分について年4回調

査を行っておりまして、調査地点数については合計で 41 地点、先ほどの水質汚濁防止法の法定の地点が 23 地点、独自で 18 地点ということで、41 地点行っておるところでございます。

今回のご要望につきましては、今年度の調査の結果を見た上で、真光寺川については特に今後の調査の結果を見ながら、必要性を含めて検討していきたいと考えております。いずれにしても、データの評価につきましては、継続的に調査したデータでの評価ということが一番大事だと思いますので、今後もその辺を含めて調査を継続していきたいと考えております。

要請：水質について東京都・町田市・市民とが話し合いの場を設け、役割分担をしっかりと行ってほしい。

質問：広袴調整池に浄化装置を設置できないか、又わき水を流入させられないか？

◆ 4 番（いわせ和子）

ありがとうございました。ぜひ東京都のほうと町田市の上下水道部、それから環境資源部、そして市民とできれば今後合同で会議といいますか、話し合いをする場面を設けていただきまして、役割分担というものをしっかりと行っていただければと思います。ぜひともよろしく願いをいたします。

では、次に広袴公園の調整池の件をお伺いいたします。昨年的一般質問で大西議員が薬師池の水は何で清流ではないのかというような質問をされておりました。ちょっとそこでヒントを得まして、この広袴の調整池も浄化装置を設置してみてもどうでしょうか。それと、広袴公園の調整池は今 2 カ所、側面からわき水が入っているというふうに聞きましたので、井戸を掘りましてわき水を流入する、そういった方法もあるのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

回答：まず堆積土砂の取除きとヘドロの除去を行う。その結果を見て必要あれば他の対策を研究する。

◎ 上下水道部長（渋谷晴久）

調整池でございますが、現状では真光寺川の水がこの調整池内に流入しているというところで、土砂が非常に堆積しております。そのため、調整池内での水の流れが非常に悪くなっているという状態でございます。

そこで、先ほど答弁を申し上げましたとおり、堆積している土砂の一部を取り除きまして、水のだよみがなくなるように流れを確保し、あわせて池の隅に堆積してございますヘドロの除去もしてまいります。今後でございますけれども、こちらのほうのヘドロのしゅんせつ等の経過を見まして、必要であれば、池の面積で約 9,000 平米の調整池でございますので、こちらの機能を損なわない範囲で、関連部署と連携し、対策を研究してまいりたいと思います。以上でございます。

質問：川の上流域の市街化調整区域の生活排水整備が急務と思うが、市の考えは？

◆ 4 番（いわせ和子）

ぜひとも調整池の機能を損なわないように、いろいろと研究をしていただきたいと思います。一度にやるのは本当に大変です。前にご相談に行ったときに、このヘドロをとるのには約 2 億円から 3 億円かかるというようなお話も聞いております。一遍にやるのは無理ですので、少しずつ取り組むことも必要だと思います。ぜひともよろしくお願いをいたします。

次の質問に移らせていただきたいと思います。会の皆さんは、真光寺川を守ろうと本当に日々努力をされているわけなんです、ことしに入りまして、会長の山口さんが毎朝 6 時半ごろ、真光寺川の気温と水温と水位と透視度を調査しております。本当に頭の下がる思いなんですけれども、そこで、その結果、3 月は一般家庭からとは思えないような泡が見られた。4 月は川の色が黒ずみ濁っている。子どものこぶし大ぐらいの泡が川面を覆っていた。この発生源は広袴公園より上のほうではないかというお話を伺いました。この広袴公園の調整池に流れ込む真光寺川の上流地域というのは、市街化調整区域でございます、生活排水の未

整備のところがあるところでもあります。このような地域を早急に整備するということも大変重要と考えますけれども、市のほうの考えをお聞かせください。

回答：市街化調整区域の整備については未着手、今後検討する。

◎上下水道部長（渋谷晴久）

ただいまのご質問でございますが、現在、町田市では市街化区域の整備につきましてはかなり污水整備が進んでおるという状態です。人口普及率で95%を超えているという状況でございます。しかしながら、まだ市街化調整区域の整備については着手していないという状況でございますので、ご指摘の市街化調整区域の污水处理につきましては、今後検討してまいりたいと思います。

質問：真光寺川や広袴調整池の汚れの原因を市が調査してほしい。また川をきれいにするための市民への呼びかけについての市の取組を教えてください。

◆4番（いわせ和子）

これは会の皆様たちの力、市民の力ではなかなかできないことでございますので、ぜひとも検討をよろしくお願いいたします。

では、最後の質問になりますが、これは最初の答弁のところでお答えをいただきました。最後の質問は、ぜひとも真光寺川と広袴公園の調整池の汚れの原因を追及してほしいという質問なんですけれども、最初のご答弁で原因追及をするとお答えいただきました。ですので、この真光寺川に限らず、町田市内の川を守るためにも、市民1人1人への呼びかけが必要なことだと思いますが、ちょっと重複しての質問になりますが、汚れの原因を研究してほしいという質問と、あと、市民1人1人への呼びかけということに対しての今後の取組を教えてください。

回答：（川の汚れの原因追求を行う予定はない。）市民への呼び掛けは担当の東京都（南東建）と連携して意識啓発に取り組む。

◎環境資源部長（宗田隆由）

川の汚れの原因の追及ということなんですが、先ほど追及しますということではなく、お答えしたつもりはなかったんですけれども、流量が非常に少なくなってくる河川につきましては水質も不安定になりまして、非常に汚れの原因になる状況にあります。

また、真光寺川の汚れの原因、先ほどの件なんですが、想定するには、車を洗った時の水、そういったもの、あるいは土砂や道路の粉じんなどが側溝から流れ込んでいたりとか、あとは公共下水道への未接続の家庭からの生活排水の流れ込み、あるいは公共下水道区域外の単独浄化槽ですとか合併浄化槽のメンテナンスの不十分な場合などの水が流れ込んだりということが考えられるかなと思います。これらの流れ込む水というのは、どちらかという、富栄養化というんですか、栄養が非常にいい環境、微生物がすみやすいような状況になりまして、そうなりますと、藻が発生したりとか、生き物の生息によりさらに富栄養化の原因にもなってきました、汚れというのはいろいろな原因が、これというのがなかなかございません。

昨年、年末においては、塩素系の洗剤でしょうか、そういったものが流れ込んで魚が浮いたということもありまして、これがという特定するものがなかなか難しい状況ではあります。いずれにしても、流域にお住まいの方々1人1人が川への影響を十分認識していただくということが大変必要なのかなと。我々も、先ほど上下水道部のほうも普及とか、いろいろ対策をやっても、やはり市民の方1人1人がいろいろ対策していただく、意識していただくことが一番重要なかなと思います。

今後は、河川管理者であります東京都と連携をしまして、水質改善に向けました協力の呼びかけを流域にお住まいの方、これは真光寺川だけではないと思いますので、広報等を通して、そういった意識啓発をさせていただきたいなということで、今、東京都、これは南

多摩東部建設事務所が具体的には担当になりますが、そちらと調整を始めたところでございます。

要請：市民意識の高揚と市民と行政との協働が重要。市の取組をお願いしたい。

◆ 4 番（いわせ和子）

ありがとうございます。市民 1 人 1 人への意識啓発、ぜひともよろしくお願いをいたします。
この真光寺川、町田市内におけるすべての川もそうなんですけれども、川をきれいにしよう
という市民の意識を高めることがとても重要であり、市民と行政、この協働の取り組みが最
も重要だと思いますので、これからもよろしくお願いいたします。

.....